

第23回富山県入札監視委員会の審議の概要

開催日及び場所	平成27年2月12日（木） 県庁4階大ホール		
委員 (委員数：5) (出席数：4)	委員長 広瀬 慎一（元富山県立大学短期大学部長） 委員 大石 貴之（弁護士） 委員 彼谷 環（富山国際大学子ども育成学部准教授） 委員 土開 由香（税理士）		
次第	1 開会 2 入札・契約手続の運用状況の報告 ① 富山県の入札・契約制度について ② 平成26年度上半期の入札・契約方式別発注工事の状況について ③ 平成26年度上半期の一位不動入札、落札率100%入札、一者入札、入札方式別落札率及び総合評価方式の試行結果について ④ 平成26年度上半期の低入札状況及び指名停止の運用状況等について 3 審議工事の抽出結果の報告 4 抽出事案の審議 5 審議結果の報告 6 閉会		
審議対象期間	平成26年度上半期（同時期に請負契約を締結した工事）		
抽出事案	10件（審議対象工事総件数：1,027件）		
一般競争入札	3億円以上	1件	(事案1) 伏木富山港（富山地区）公害防止対策浚渫工事
	1億円以上	1件	(事案2) 富山県立富山中部高等学校旧校舎解体工事
	2千万円以上	3件	(事案3) 小矢部川水系池川砂防総合交付金（砂防）池川橋下部工工事
			(事案4) 鴨川河川総合交付金放水路工工事
指名競争入札		4件	(事案5) 中山間総合整備 となみ・なんと山麓地区 南砺工区水路整備第8工区工事
			(事案6) 一般県道八町大門線道路総合交付金（防災・交安）歩道整備工事
			(事案7) 主要地方道富山上滝立山線県単独橋梁維持修繕新町橋高欄再塗装工事
			(事案8) 地すべり対策 氷見2期地区 平沢高木水抜ボーリング洗浄工事
随意契約		1件	(事案9) 大長谷第二発電所 菅沼ダム排砂工事
			(事案10) 伏木富山港（新湊地区）県単港湾維持修繕船舶監視レーダー画像配信装置更新工事
委員からの意見及び質問並びに当該質問に対する回答	意見・質問		回答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会としての意見	平成26年度上半期における建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われていると判断する。		

別 紙

意見・質問	回 答
<p>○男女共同参画、ワークライフバランスを総合評価方式の評価項目に取り入れたらどうか。</p>	<p>男女共同参画推進事業所の認証を入札参加資格審査の加点項目としているが、総合評価方式では評価項目としていない。今後、他県の実施状況を研究したい。</p>
<p>○事案1の工事について、変更契約金額はどのように算定したのか。</p>	<p>県の積算基準に基づき変更設計書を作成し、その変更設計金額に本件入札の落札率を乗じて算定した。</p>
<p>○事案2の工事について、低入札価格調査の調査項目である「経営状況」は、どのように調査し、判断するのか。</p>	<p>低入札価格調査資料として決算書を提出してもらい、自己資本比率及び流動性比率などの指標を確認している。</p>
<p>○事案3の工事について、入札参加者は2者であったが、入札参加可能業者は何者であったのか。</p>	<p>本工事の入札参加条件とした、砺波土木センター管内の土木一式工事・A等級の業者は、27者であった。</p>
<p>○事案4の工事について、1者辞退しているが、総合評価方式の技術点の評価は全者について事前に行っているのか。</p>	<p>総合評価方式の評価項目に関する資料は、入札参加申請時に提出してもらっている。入札参加申請者が入札するか否かについては、評価時点では不明であるため、全者について事前に評価を行っており、開札後に評価値を確定させる。</p>
<p>○事案5の工事について、なぜ一者入札になったと考えられるか。</p>	<p>一般競争入札に参加するか否かについては、各企業の判断であることから、本工事への入札参加意思を示した1者のみの入札となった。</p>